

明治天皇が最も  
頼りにした

# 山階宮晃親王

深澤光佐子 著

四六判 並製 二四〇頁

定価(本体1,800円+税) ISBN978-4-8016-0019-5

## 明治の初め、天皇の東幸により寂れてしまった 京都の復興に力を注いだ皇族——山階宮晃親王

明治初期、若き天皇の名代をつとめた知られざる皇族の生涯。天皇を世襲できる伏見宮家の長子に生まれながら、寺へ入ることを運命づけられて波乱と失意の前半生を送るが、幕末・維新の混乱期に政治の表舞台に登場。天皇の信頼篤く、外交官として明治初期外交の最前線で活躍。引退後は天皇の名代として京都人の心の拠りどころとなる。山階宮晃親王の玄孫による書き下ろし。

| 目次          |
|-------------|
| 序           |
| 1 宮家について    |
| 2 宮家の子ども    |
| 3 勸修寺相続     |
| 4 出奔事件      |
| 5 還俗までのいきさつ |
| 6 国政に参画     |

|                    |
|--------------------|
| 7 外国事務総督としての仕事     |
| 8 門跡制度に対する意見       |
| 9 京都へ戻って           |
| 10 京都にて天皇の名代を務めた行事 |
| 11 明治天皇との関係        |
| 12 住まい             |
| 13 伝統芸能等の復興に力を尽くす  |

|                 |
|-----------------|
| 14 晃親王の人となり     |
| 15 妻と子          |
| 16 宮家の経済的状況     |
| 17 遺言と葬儀について    |
| 18 晃親王と関わりの深い寺  |
| 19 晃親王の生涯       |
| 終わりに            |
| 参考文献／山階宮晃親王の略年譜 |

好評  
発売中！

## 山本覚馬伝

青山霞村 原著

住谷悦治 校閲  
田村敬男 編集

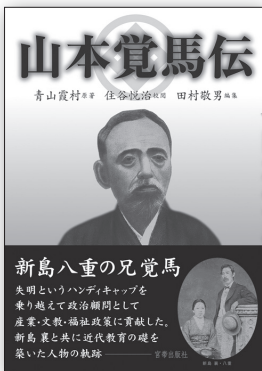
A5判 並製 一九六頁

定価(本体1,900円+税) ISBN978-4-86366-873-7

## 会津武士覚馬の、そして京都の近代の歩み

新島八重の兄覚馬。失明というハンディキャップを乗り越え、新島襄と共に近代教育の礎を築いた人物の軌跡——。

幕末の会津に育ち、藩校日新館や佐久間象山塾で学ぶ一方、山本家の弓馬槍刀の師伝を得、江戸で蘭学・洋式砲術を学び、日新館教授、会津蘭学所教授となった覚馬。藩主容保の上洛に随行、鳥羽伏見の戦いで幽閉され失明するも、その人物を見込まれ京都府顧問となる。京都の近代化・教育行政・社会福祉に尽力し、京都府議会初代議長となった会津武士覚馬の近代を、同志社校友による稀覯本を基に再現。近代京都の歩みを知る恰好の書。



### 注文書

書店(帳合)印

条件

注文数 冊 担当 様

### 書名

発行 (株)宮帯出版社 京都市上京区真倉町739-1  
明治天皇が最も頼りにした  
山階宮晃親王

ISBN978-4-8016-0019-3 C0023 ¥1800E

深澤光佐子 著

定価(本体1600円+税)

年 月 日

### 注文書

書店(帳合)印

条件

注文数 冊 担当 様

### 書名

発行 (株)宮帯出版社 京都市上京区真倉町739-1  
山本覚馬伝

ISBN978-4-86366-873-7 C0023 ¥1900E

青山霞村 原著  
住谷悦治 校閲  
田村敬男 編集

定価(本体1900円+税)

年 月 日

(株)宮帯出版社

京都市上京区真倉町739-1  
TEL (075) 441-7747

www.miyaobi.com  
FAX (075) 431-8877